

## 『環境学習への思い』

【大阪市立茨田北中学校 校長 上田 明】

本校は、大阪市の北東部、大阪府の守口市・門真市・大東市に囲まれた地域に位置し、今年度56年目を迎えた「地域に誇れる学び舎」を目指した中学校です。

しかし、大阪市内とは言え、極東に位置するため、昔から交通網の発達が遅れ、大阪市営バスだけに頼るところがありました。

私は茨田北に昨年4月に着任し、初めて鶴見区の学校に勤めましたが、教職員の自転車通勤の多さに驚きました。これは自宅又は学校最寄駅からの通勤です。

現在、私も大阪シティバス(2018年、市営から民営化)で通勤していますが、その昔、茨田北へ部活動の試合で行くために、バスと徒歩で時間がかかり、大変苦労したことを思い出しました。

そして、今年度当初に、交通エコロジー・モビリティ財団の「交通環境学習」学校支援制度を知ることとなり、「これは本校にピッタリではないか。地域愛を高めるためにチャレンジしよう。」ということで、応募させていただきました。その結果、運よく選定していただき、ご支援をもとに2年生を中心として学習展開を進めました。

学校周辺は、広大な鶴見緑地公園ができ、そこで1990年に花博が開催され、地下鉄が延長整備され、今ではかなり便利となりました。その後、田畑が住宅地に変貌し、人口も一気に増えたため、近隣には生徒数の大規模校が点在しています。しかし、大都会大阪の一角でありながら、昔の風情や佇まいが今なお残る懐かしい地域であり、東には生駒山を眺めることのできる環境豊かな地域です。

この生活環境のもと、教職員と力を合わせ、今回の調査研究や取り組みを始めました。調べを進めていくと、大阪市営バス・シティバスもかなり歴史があり、その変貌と発展について、シティバス社より直接生徒たちにご講話をいただく計画を立てましたが、これについては叶いませんでした。

そこで、鶴見区役所教育政策課のバックアップを受け、長年、地域保護司、生涯学習に携わっておられる鎮西氏をご紹介いただき、ご支援ご講話をお願いすることとなりました。

鎮西氏は地域の歴史に大変お詳しく、配布資料も豊富で、パワーポイントを活用しながら、古代まで遡ってその歴史をご説明いただきました。また市バス、地下鉄の延伸と地域の都市化、今後のモノレールの延伸にもご言及していただき、生徒たちに大変深い学びとなりました。

歴史の深い茨田地域と交通及び街の発展。地域愛をさらに深めるために、画期的な学びとなったと思います。改めて貴財団様に感謝いたします。